

田辺かずき 県政報告

福岡発! ただいま
政治刷新中!

第46号

【2017年度総集編】
2018年4月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@
tanabe-kazuki.jp

【4ページ拡大版】
■農林水産支援を強化...2
■子育て・教育の充実...3
■スポーツで活性化へ...4

子どもの医療的ケアで体制強化 教育、農林水産、観光、環境も

福岡県議会議員に就任し、8年目に入りました。地域をくまなく回り、地元の多くの皆さんとの「対話」を通して生活課題を把握し、県議会で課題解決のための政策を提案する。そして、

県議会での動きを中心に

容が含まれており、住民の皆さんの生活向上に寄与できたことをうれしく思います。

この問題を本会議で取り上げたきっかけは、重い障がいのあるお子さんの保護者の方からのご相談でした。調べていくと、一人の困りごとでなく、みんなの困りごとだと分かりました。つまり政治が解決を図るべき社会課題でした。このほかにも議会でも取り上げてきた教育やスポーツ、観光、農林水産業、廃棄物行



早朝は各駅で報告書を配布し、日々の活動を発信しています

に私自身の活動を詳しく報告書やブログなどにまとめ、皆さんに「発信」する。こうした「民主主義のサイクル」を成立させることを強く意識し、活動を続けてきました。私は県民の皆さんが「政治が手元にある」と実感できる政治の実現を目指しています。

私は、一人一人が大切にされ、誰もが自己実現を図れる共生社会を目指しています。そして、子どもたちや孫たち、つまり次の世代に責任を持つて豊かな地域社会をつないでいく政治を目指しています。2018年度も地元の皆さんの「声」を原点にしつかりと活動してまいります。

田辺かずきで検索



議会での政策提案が議員の最も重要な責務=県議会本会議、2018年3月7日

2018年度の県政を運営するための予算は総額1兆7325億円に上ります。私は2017年度も全ての定例会で知事らに対する質問に立ち、政策を提案してきましたが、当初予算にはこうした内

子どもたちが学校にいる間、保護者の方が学校に常時待機しなればなりませんでしたが、私が17年9月定例会の本会議でこの問題を取り上げ、県教育委員会が改善を検討した結果、人工呼吸器などの子どもさんに対応できる看

田辺の政治活動を連日発信中!

- ブログ
- ホームページ
- facebook
- Twitter

<http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
<http://www.tanabe-kazuki.jp/>
<http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
アカウント→ @tanabe_kazuki

農林水産業の支援を推進！

田辺かずき
県政報告

海岸松林の保全強化も実現

第1次産業の 振興を図る

農林水産業はこの国の根幹です。私は県議会の農林水産委員会に所属し、地元、古賀市や糟屋郡、宗像市、福津市を中心に県内各地の皆さんの現場の実情を踏まえ、積極的に議会に提案しています。

福岡県は農産物の輸出促進に取り組んでいます。JA粕屋では都市近郊で園芸が盛んな強みを生かし、古賀市の7戸と新宮町の1戸の計8戸の農家さんがイチゴの王様「あまおう」を台湾に輸出する取り組みを推進。私も議会で後押ししています。また、「活力ある高収益型園芸産地育成事業」で生産や流通施設などの整備やハウス改修などに補

助し、地元農家さんを支援しています。



農商連携・6次産業化の取り組みも支援。古賀市の食の祭典で
＝2017年5月21日

私は「農業と福祉の連携（農福連携）」も重視しており、地元農家さんの先進的な取り組みを現場で学ばせていただき、今年2月定例会の代表質問で推進を提案。知事は「障がいのある方の新しい職域を開拓し、地域社会への参加を促進していくうえで、大変有意義な取り組み。農業従事者の減少や高齢化が進んでいる農業にとっても、新たな働き手の確保が期待でき、地域農業の維持・発展に有効」とその意義を共有。18年度、県内の各地域で農家と福祉施設などの連携体制を構築する取り組みを新たに支援する方針を示し、「着実に農福連携を進める」と表明しました。

「障がいのある方の新しい職域を開拓し、地域社会への参加を促進していくうえで、大変有意義な取り組み。農業従事者の減少や高齢化が進んでいる農業にとっても、新たな働き手の確保が期待でき、地域農業の維持・発展に有効」とその意義を共有。18年度、県内の各地域で農家と福祉施設などの連携体制を構築する取り組みを新たに支援する方針を示し、「着実に農福連携を進める」と表明しました。

イノシシやシカなどの鳥獣被害対策をさらに推進することも必要です。この間、県として侵入防止柵や捕獲用わなの導入、捕獲活動のための銃の弾代やガソリン代の助成など様々な対策に取り組んできていますが、それでも依然、被害額は9億円超。農林水産委員会では、私から捕獲の担い手となる狩猟者の免許取得助成事業の改善やジビエの流通促進のための広域連携による獣肉処理加工施設の整備を提案しています。特に、獣肉処理加工施設は県内4カ所しかなく、宗像市のケースを念頭に市町村が広域連携で取り組めるよう、県として支援する重要性を指摘。畜産課は「複数の市町村で整備することと処理頭数や販売量確保による運営面のメリットもある。県として近隣市町村と連携した取り組みを働きかけていく」

と、松への薬剤散布に加え樹幹注とも行い、防除対策を徹底していましたが、この場合、樹幹注入の経費は県からの補助対象ではありませんでした。そこで、私も農林水産委員会でこの問題点を指摘し、今回の対策強化で、薬剤散布に加えての樹幹注入にも県から補助を実施することにしました。

松への薬剤散布に加え樹幹注とも行い、防除対策を徹底していましたが、この場合、樹幹注入の経費は県からの補助対象ではありませんでした。そこで、私も農林水産委員会でこの問題点を指摘し、今回の対策強化で、薬剤散布に加えての樹幹注入にも県から補助を実施することにしました。

私が昨年2月定例会の一般質問で提起した福岡県独自の宿泊税の導入について、県が今年度に有識者会議を設置して検討する方針を示しました。今年3月の本会議でこの判断の背景を質し、知事は「今後、継続的に観光振興を図っていくためには、県独自の安定的な財源の確保が必要と考え、新たな税制を含めた財源の検討を進めることにした」と説明。夏までに有識者会議を設置し、今年度中に中間とりまとめを行う考えを示しました。

観光振興の推進—— 宿泊税を検討

市町村の政策 要望を実現

海岸の松林の保全は重要です。古賀市や福津市、宗像市、新宮町も玄界灘に面して防風保安林があり、松くい虫の防除対策を強化する必要があります。沿岸市町村からの要望を受け、私も農林水産委員会です。市町村に対する財政支援を求めています。

今年度の当初予算には、立入検査の高度化を図り、中間処理施設などの過剰保管の未然防止や火災事故防止対策を強化する新たな取り組みが盛り込まれました。具体的には、赤外線カメラ搭載のドローンを配備し、廃棄物の保管量や埋立状況を撮影し、廃棄物全体の温度を測定。3D化ソフトなどを配備し、撮影した画像を解析し、体積の算出や3D化で正確に状況を把握します。

産業廃棄物処理 を適正化へ

産業廃棄物を過剰保管していた嘉麻市の中間処理工場の大規模火災を受け、私は昨年6月の本会議で、産業廃棄物の不適正処理の早期発見と早期対応のため、県の監視指導体制の改善を知事に求めまし

た。今年度の当初予算には、立入検査の高度化を図り、中間処理施設などの過剰保管の未然防止や火災事故防止対策を強化する新たな取り組みが盛り込まれました。具体的には、赤外線カメラ搭載のドローン

な。福岡県議会は16年9月に議員提案で県観光振興条例を制定。私も古賀市、福津市、宗像市、糟屋郡などの広域連携による振興策を提案し、県に取り組みを促しています。



JA粕屋青年部さん主催の婚活イベントにスタッフとして参加
＝2018年2月17日

JA粕屋青年部さん主催の婚活イベントにスタッフとして参加＝2018年2月17日



ヨメニコーン改（左）と古賀市の特産品「スイーツコーン」をPR
＝2017年6月25日

ヨメニコーン改（左）と古賀市の特産品「スイーツコーン」をPR＝2017年6月25日

ヨメニコーン改（左）と古賀市の特産品「スイーツコーン」をPR＝2017年6月25日

子育て支援を強化、教育環境を充実！

病児保育の新規設置を推進

正規教員の増員計画策定も

2018年2月定例会の本会議・一般質問で、子育て支援の充実を図る観点から、子どもが病気になる際に病院などが一時的に預かる「病児保育」の体制強化を求めました。多くの保護者が直面している大きな課題です。

県内では、インフルエンザの流行期をはじめ季節による変動で定員超過が起きるなど、病児保育の需要に追い付いていない地域もあり、3年前に策定した県の計画に基づく対応だけでは改善が困難な状況もあります。そこで、県として、県内市町村の実情を正確に捉え直し、病児保育の体制を強化すべきと提案。知事は「今後、利用実態を踏まえ、実施主体の市町村と協議したうえで課題を整理し、必要な体制整備が図られるよう支援をしていく」と表明しました。今後、調査の実施ときめ細かな支援につながる事が期待されます。

また、子どもの教育環境の向上を目指して提案していた「公立小・中学校の教員定数に占める正規教員の割合を大幅に増加させる計画」が策定されました。福岡県の正規教員の割合は昨年度86・4%と全国でも最も低い水準にあるため、計画的に増員することで2023年度までに96・4%に引き上げます。

また、子どもの教育環境の向上を目指して提案していた「公立小・中学校の教員定数に占める正規教員の割合を大幅に増加させる計画」が策定されました。福岡県の正規教員の割合は昨年度86・4%と全国でも最も低い水準にあるため、計画的に増員することで2023年度までに96・4%に引き上げます。



病児保育の体制強化を知事に求めた一般質問
＝2018年3月7日

都市計画道路・中川熊鶴線 新設工事を開始

2車線・歩道付きの道路へ 筑紫野古賀線も前進

道路整備では、特に長年の懸案だった都市計画道路・中川熊鶴線の整備が始まりました。久保区内の筑紫野古賀線の太郎丸交差点から国道3号線に向かって280メートルを既に整備していましたが、国道3号線までの520メートルの区間について、昨年11月に新設工事に着手。最終的に、片側1車線の計2車線、歩道を設置した全体の幅員が16メートルの道路に生まれ変わります。

また、県として基幹的の道路整備の重要事業と位置付けている筑紫野古賀線についても4車線化の早期実現に向けて、昨年度も一部区間の拡幅工事などを実施しました。私も県議会で事業の促進を求めてきており、県として引き続き精力的に取り組んでいきます。

タイ総領事館の福岡開設が決定



CROSS FMの番組に出演し、福岡県とタイとの交流を解説＝2017年6月21日



タイ政府のソムキット副首相に総領事館設置を要請＝バンコク都で2017年5月29日

タイ王国が今年1月、福岡県への総領事館設置を閣議決定しました。大阪に続き国内2カ所目で、10月の開設を目指しています。私は福岡県タイ友好議員連盟の事務局長として実現に向けて取り組んできたので、とてもうれしく思います。

今回の決定は地方議員による外交成果と言えます。小川洋知事は2月定例会で「タイ政府の要人に対し、県議会の皆さんと一緒に直接訴え、福岡県の潜在力をアピールできたことが、タイ政府の意思決定を加速させた」との認識を示しました。特に、ソムキット副首相やドーン外相との会談実現は県議会が培ってきた人脈が生きた結果であり、知事は「会談の実現が総領事館設置を大きく前進させるきっかけとなった」と述べました。

総領事館の設置で、両国の観光客や留学生などの大幅な増加による経済・文化交流の活発化が見込まれます。ソムキット副首相がタイの経済発展を目指して投資・開発計画を進めている東部経済回廊（EEC）について、知事は「投資意欲のある企業を対象とした本県独自の経済ミッションを派遣し、タイ政府投資委員会を招いての投資セミナー開催も検討する」との考え。さらに、福岡の県立高校とタイの高校の姉妹提携について、城戸秀明教育長は「タイ教育省から本県との交流を希望する高校の情報提供があった」と明らかにしました。現在、県立高校に希望調査を実施しており、今後、インターネット交流やホームステイなど具体的な取り組みにつながるよう支援する方針です。今回の総領事館設置を契機に、両国関係の友好親善をさらに深めていけるよう、引き続き取り組んでいきます。

福岡県総合防災訓練を古賀市で開催へ

福岡県は今年度の「総合防災訓練」を古賀市で開催します。6月3日（日）、メイン会場は筵内の玄聖園。福岡県、古賀市、新宮町、粕屋北部消防本部、消防団、警察、自衛隊、医療機関、ボランティア団体などの約100機関が参加する大規模なものです。

地震や津波、風水害の対策や、住民の皆さんの自主防災組織の活動、高齢者や障がい者の皆さんら避難行動要支援者の支援、弾道ミサイルを想定した国民保護、ヘリコプターによる避難など、多岐にわたる内容で訓練を実施します。古賀市の地域事情をしっかりと踏まえた内容も盛り込むべく、私自身も開催まで県の防災危機管理局としっかりとやり取りしてまいります。当日はどなたでもご参加いただけるので、よろしくお願いたします。



被災地支援活動＝朝倉市で
2017年7月14日

古賀東校区の防災訓練で炊き出し
＝2017年10月28日

スポーツを活かしたまちづくりを推進！

五輪・パラ・ラグビーW杯へ 健康増進、観光振興、国際交流も



子どもたちに喜んでもらったフラッグツアー
＝古賀西小学校で2018年1月26日

五輪と地域活性化

スポーツは、私たち一人一人の人生と地域社会を豊かにし、子どもたちに夢と希望を与えてくれます。2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップ（W杯）と2020年の東京オリンピック・パラリンピックといった大規模国際大会を契機として、私たちが暮らす地域の振興にスポーツを活かしていくことはとても有意義です。スポーツを軸として、住民の皆さんが体力の向上や健康の増進に取り組みやすい環境を整備していくことはもちろん、教育の充実、経済の活性化、観光の振興、国際交流の促進などにつなげ、地域活性化を図っていかねばなりません。

町長さんたちから話を聞きました。人口は古賀市の3分の1ほどの約2万人、大規模な競技場や宿泊施設はありません。それでも「オリンピックをこれからまちづくりにつなげる」との熱意で誘致に取り組み、県立築上高等学校のレスリング部が伝統的に強豪であることも生かし、オセアニアのキャンプ地に決まりました。「2020年に向け、すべての住民が関われるような仕組みをつくっていく」。その意気込みから学ぶことは多くあります。

子どもたちに笑顔を

今年1月、古賀市で東京オリンピック・パラリンピックのフラッグツアーを展開しました。市内の小学校を訪ね、私からもその意義を説明しました。「本物」の旗を見た子どもたちはとても喜んでくれました。3月にはスポーツ推進委員の皆さんの協力で風船バレーなどの障がいのある方も楽しめるスポーツを知っていただくイベントを開き、多くの小学生が参加してくれました。

古賀市では野球やサッカー、バスケットボールをはじめとして、子どもたちはもちろん市民の皆さんが参加するスポーツは枚挙にいとまがありません。市内の高校を見ても、玄界高校はホッケー部やフエニング部、馬術部が全国大会で活躍し、県立高校唯一の国際文化コースが

あります。古賀寛成館高校はチアリーディング部の活躍が目覚ましく、さらには生徒の皆さんによる古賀駅清掃など学校ぐるみのボランティア活動が高く評価され、県表彰も受けました。両校とも古賀特別支援学校と連携しています。ラグビー日本代表には古賀市出身の福岡堅樹選手がおり、私も直接会って激励しました。



全国大会に臨む玄界高校の生徒さんたちを激励＝2017年7月3日

地域資源をつなぐ

昨年12月定例会本会議の一般質問で、私は広域的な地域振興の観点から、自転車を活用した観光であるサイクルツーリズムの推進を提案し、知事は2018年度の早期にサイクルツーリズムに対応するための「県の基本的方向性」を取りまとめる方針を示しました。さらに、今年度の当初予算には観光客に人気の高い「体験・交流・滞在型の観光資源」を開発することで

県内各地への周遊促進を図る新たな事業を盛り込みました。この中には、周遊コースの紹介やイベント情報を一括して発信するウェブサイトの構築、古賀市を含む広域的な自転車周遊モデルの実証実験など、私が提案した内容も含まれています。このサイクルツーリズムも、スポーツと地域資源をつなぎ、まちの将来に生かすというひとつの発想です。

古賀市には魅力的な地域資源が多くあり、他にもアイデアが出てきそうです。都市近郊で海・山・川の自然があること。農業が息づき、工業も盛んで「食」や「モノづくり」を強みとしていること。葉王寺温泉や唐津街道・青柳宿、「国宝級」とされる貴重な馬具が発掘された船原古墳。市内の県馬術競技場では全国大会や国際大会も開催されます。自治会単位の健康づくりの取り組みであるヘルスステーションは県の新たな政策につながり、全国でも高く評価されました。こうした特長的な政策も資源といえます。

定例会での質問の映像を見られます

福岡県議会の公式ホームページでは、本会議質問の録画映像を公開しています。田辺は全ての定例会で質問をしており、直近5年間の映像を見ることができまので、ご参照ください。
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>

<田辺かずきプロフィール>



1980年 5月16日生まれ
1987年 暁の星幼稚園 卒園
1993年 花鶴小学校 卒業
1996年 古賀中学校 卒業
1999年 福岡県立福岡高校 卒業（高校51回）
2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社、福岡支局 配属
2006年 大阪本社社会部 配属
2011年 福岡県議会議員 初当選
厚生労働環境委員会（～13年）
国際交流推進対策調査特別委員会（～13年）
新社会推進商工委員会（～15年）
防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会（～15年）
2015年 福岡県議会議員 2期目当選
広域行政推進対策調査特別委員会・副委員長（～17年）
【所属】 福岡県議会・農林水産委員会
同・スポーツ振興・国際交流推進調査特別委員会
同・タイ友好議員連盟事務局
同・スポーツ議員連盟幹事
民進党全国青年委員長
民進党【衆議院】福岡県第4区総支部代表代行
福中・福岡同窓会顧問、古賀寛成館高校後援会名誉顧問
【家族】 会社員の妻、11歳の長男 7歳の長女
古賀東小学校PTCA会長（PTCA＝PTA＋地域のC）



12月定例会ではサイクルツーリズム推進を知事に提案
＝2017年12月11日



古賀市市内の県馬術競技場で大学生の全国大会を開催
＝2017年11月26日

スポーツと地域資源をつなぎ、活性化を図る。とても重要な政策テーマです。皆さんも一緒に考えてもらえますか。アイデアを出し合い、まちの将来につなげていきましょう！